

「自然の良さ×人の良さ」 山村留学を経て只見町に残った理由



—はじめに、只見町を知ったきっかけを教えてください。

父のツーリングがきっかけで、子供のころから家族で奥会津ただみの森キャンプ場に年に2.3回訪れていたもので只見町という存在は知っていました。

その後、高校受験の時期に、新宿で只見高校の説明会があると知って参加し、話を聞くうちに寮生活に魅力を感じて受験を決めました。家族もみんな自然が好きなので賛成してくれましたね。

—高校時代はご家族も遊びに来られていたんですか？

いえ、新型コロナが流行していた時期と被ってしまって。

僕も思っていたような山村留学生活を楽しめなかったんです。不完全燃焼で終わってしまったみたいなの。．．

今は新型コロナも落ち着いてきて、不完全燃焼はだんだん解消されてきています。その分やりたいことがたくさんあって忙しいです。

—新型コロナの時期と被ってしまっていたんですね．．．

山村留學生時代の生活のことも伺いたいのですが、寮生活はいかがでしたか？

一人暮らしの今と比べると、とても快適でした。

朝も夜も暖かいご飯を用意してもらえましたし、調理員さんがいて栄養も考えられていてすごく美味しいんですよ。お昼にお弁当も届けてもらえました。

夕食後は勉強をしたりゲームをしたり、新型コロナ前は2人部屋だったんですけど、コロナの影響で1人部屋になって部屋を広々と使えたので、筋トレ器具を置いて身体を鍛えたりもしていました。

一部活は何をやっていたんですか？

卓球部です。本当はサッカーをやりたいんですけど、只見高校にはサッカー部が無いので受験するか迷ったこともありました。最終的に自然環境とサッカーを比べて自然環境を選びました！

一度はバスケ部に入部したんですけど、2週間で廃部になってしまって．．．僕しか入部しなかったんです。それで、泣く泣く卓球部に入りました（笑）東京などの学校に比べると生徒数も部活数も少ないんですよね。

一只見高校を選んでもらえてよかったです！寮生活での楽しかった思い出は？



食堂にテレビがあるんですけど、夜にみんなで集まってゲームをしたりとか。

休みの日はみんなで自転車で町の中をぐるぐる探検して自然を散策したり、ご飯を食べに行ったりが楽しかったですね。只見川で川遊びもしましたよ！

とても楽しそうな寮生活ですね！

では、卒業後の現在の暮らしもお伺いしていいですか？

卒業後、自然に関わる仕事をしたいと思って、(株)只見町観光公社に就職し、春～秋は奥会津ただみの森キャンプ場、冬は只見スキー場で働いています。

キャンプ場では、接客がメインですが一番多いのは草刈り。それも、寮生のころに副寮長の方がキャンプ場で働くなら草刈りが必要だねって寮の周りの草刈りを練習させてくれたので、一歩目は出てる感じで働き出せたのがありがたかったです。

スキー場ではリフト小屋にいたり、今年度からはパトロールの資格を取ることになっていて、危険な場所が無いか、動けなくなっている人はいないかなどのパトロール業務にも携わる予定です。

季節によって仕事が変わるのでメリハリがあって楽しいです。



—お休みの日はどのように過ごされているんですか？

やりたいことがたくさんあって結構忙しいです。

一つは狩猟免許取得への挑戦。子供のころからカッコいいなと憧れていたんです。いろいろと責任は出てくると思うんですけど挑戦しています。取得までに試験が何個もあって、道のりはまだ長いです。

あとは、去年の11月から一軒家を借りて暮らしているんですが、庭の畑で農業にも挑戦しています。家の畑で作物を育てるのも夢だったんです。耕運機もあったんですけど鍬で耕してみたので小さいスペースですが、ジャガイモとレタスとキャベツ、いちごとネギを植えました。

—いろいろなところでお手伝いもされているんですよね？

そうですね、休みの日を利用して米農家さんやトマト農家さんでアルバイトもしています。本来の業務に支障がない範囲ですけど。

米農家さんでは、草刈りや田植えや収穫のお手伝い、去年は配達もやりました！30kg袋なので結構重たいんです。トマト農家さんでは、トマトの収穫などです。



他にも、ふるさと只見案内人協会に所属しているので、山開き前の下見登山を頼まれて、浅草岳や会津朝日岳（只見四名山）に登ったりもしています。

山登りはボーイスカウトに入っていたので、小さいころからやっていた好きなことの一つで、協会の活動兼自分の楽しみになっています。

個人的にも去年は谷川岳に登りました。次は長野の山か、福島だったら磐梯山に登れたらいいなと思っています。

—自宅の畑もやりつつ、農家さんのお手伝いもしているなんて、とてもアクティブですね！

楽しいですよ。やったことがないことはなんでも楽しくて！

寮生時代の副寮長の方が本当に面倒見が良くて、その方の伝手でどんどん只見町での知り合いが増えて行って、おかげで今いろいろなところで顔を知ってもらえているので大恩人です。

—日々充実した只見ライフを送られていると思いますが、只見に残るきっかけはなんだったんですか？

高校卒業後の進路を決めるときに、最初はスポーツトレーナーになろうと思ったんです。いろいろな仕事を調べていく中で、スポーツに関わる仕事に就こうと思って、親が医療関係者だったので本とかを借りて勉強もしていました。

そんな時に、学校帰りに農道をのんびり自転車で走っていたら、ふと見た景色が、いつもの日常の風景なんですけど心に残って、やっぱり只見に残ろうかなって思ったんです。

オープンキャンパスにも参加していたんですけど、進路をギリギリのタイミングで変えて只見に残ることに決めました。



「やりたいことをやって生きる」というのが自分のモットーなんですけど、他にもっとやりたいことができたらもしかしたら只見を離れるかもしれないし、ずっと只見に残るかもしれないし、それはまだ分からないけれど、やりたいことをやって生きようって思っています。

只見ってそういう人多いですよね。みんな行動力があって、自由に本当に尊敬できるような人しかいないです。

—とても素敵なお話ありがとうございます！

では、実際に只見町で暮らしてみて困ったことなどはありましたか？

なんといっても雪ですよ。特に交通系で困ります。怪我は無かったんですけど、朝早く近隣のスキー場に向かう途中にスリップしてしまったことがあります。冬の運転は本当に慎重になった方がいいですね。

あとは、カメムシ。虫は苦手ではないけれどカメムシは．．．

寝てる時に顔とか布団についていて起きたら布団から嫌な臭いがしたり（笑）
自宅の後方が杉林で前方が山なので、2階がもう、2週間で500匹くらい！

—いやそれは只見町の中でも群を抜いて多いですよ！？

ですよ！だって箒ではけるんですよ！仕方がないので2階から畑に捨てて栄養にしているんですけどね。

いつか、カメムシ捕獲機を誰かに開発してもらうか、自分で考えるか．．．特許取ってボロ儲けできるかな（笑）

—只見町で暮らしてよかったことはありますか？

やっぱり人かな。みなさん面倒見てくれて、とても良くしてくれて、本当にお世話になっています。隣の家の人に野菜をもらったり、そういうのも田舎暮らしの良さというか、嬉しいですよ。

自然環境が良いところってほかの地域にもあると思うんですけど、人の良さと自然の良さがかけ合わさって、只見町はとても良い場所だなと感じています。



—最後に移住を考えている方に一言お願いします！

そうですね、覚悟は必要ですね。

ただ、みんな困っていたら助けてくれるし、住んでみれば只見町での暮らしに慣れていきます。

あとは、田舎はなかなか仕事が無いからと諦めてしまう人をよく見かけますが、田舎は特に人手が足りていないので、仕事は選ばなければいくらでもあるし、地域の人々は快く迎えてくれるので、なんでも楽しむ姿勢でいれば上手くいくと思います。



2024.06.25